

様式(9)

論文審査の結果の要旨

報告番号	<p>甲 保</p> <p>第 1 4 号</p> <p>乙 保</p>	氏 名	宮川 操
審査委員	<p>主 査 葉久 真理</p> <p>副 査 田村 綾子</p> <p>副 査 友竹 正人</p>		

題 目

Reliability Verification and Practical Effectiveness Evaluation of the Nursing Administration Analysis Formulae Based on PSYCHOMS® (精神科アウトカムシステム (PSYCHOMS®) を基にした看護管理分析式の信頼性の検証および臨床での有効性の評価)

著 者

Misao Miyagawa, Kaori Katou, Yuko Yasuhara, Kazuyuki Matsumoto, Motoyuki Suzuki, Takako Takebayashi, Tetsuya Tanioka, Rozzano Locsin: Health, 2014, 6, 3013-3021, Published Online December 2014 in SciRes. <http://www.scirp.org/journal/health> に掲載済み

要 旨

本研究は、精神科病院の看護師の人員配置が一般診療科に比して少なく、精神医療サービス利用者の生活の質を改善するためには、限られた人材でどのように効果的かつ効率よく質の高い看護を提供するかとの臨床的課題を解決するために取り組んだものである。研究者は看護管理の視点で人員不足を補うための適正人員配置を支援する仕組みに着目し、分類と抽出の2種類の計算方法を組み合わせて解析を行う看護管理分析式を開発し、特許の申請を行っている。本研究では、その信頼性と臨床の有効性を検討した。方法は、研究協力病院であるA病院の臨床データを用いてデータベースを作成し、開発した分析式に基づいて作成したSQL (Structure Query Language) 文でデータベースにアクセスし分析を行った結果、本看護管理分析式を用いることで看護管理者が求める情報を容易に表示することができ、病棟機能や特性に応じた人員配置や、看護の質を担保するための重要な情報を得られることが確認できた。

近年、医療を取り巻く環境が大きく変化し、患者が安心して信頼できる看護を効率的に提供できる体制づくりが求められている。そのためには、管理者の実践知や経験知を理論化し、可視化する取り組みが必要である。本研究は、いままで看護管理者が管理に必要な情報の収集と、その整理に要していた時間を削減することが可能となり、適正な人員配置と看護の質向上のための方略を考え、看護管理の質と効率性を高めることができることを示した。

論文審査の結果、本研究の社会的意義は大きく、博士の学位授与に値するものであると判定した。